



恵庭市内出身で、北海道大麻高等学校(江別市)に勤務していた英語教師の小林正歩(まさほ)さんが今年8月から2年間、国際協力機構(JICA)海外協力隊員として、南米ボリビアに派遣されることになりました。

協力は、日本政府の政府開発援助(ODA)の一環として、外務省所管の独立行政法人国際協力機構が実施する海外ボランティア派遣制度です。小林さんは恵庭中学校でバスケットボールをはじめ、大学卒業後の約2



た。現地では、バスケットボールの普及と技術向上のための指導にあたります。小林さんは7月22日、派遣前に恵庭市役所を訪れ、原田裕市長に意気込みを語りました。

年間、青年海外協力隊の一員として、ボリビアに派遣され、幅広い世代への指導に携わりました。任期終了が近づいても指導を求める現地の人々のため、再び単身で現地を訪れ、9カ月活動を継続。帰国後は道内の高校で教員として勤務しながらバスケットボール部の顧問などを務めました。2023年秋に、JICA海外協力隊員として、南米ボリビアに派遣されることになりました。

小林さんは「現地の人たちが、楽しんで力をつけられるような指導を心がけたい。バスケットの発展に少しでも協力できれば」と語り、7月29日に同国へ出発しました。

(編集 大谷)



教員の経験生かし南米へバスケット指導で国際協力

た。現地では、バスケットボールの普及と技術向上のための指導にあたります。小林さんは7月22日、派遣前に恵庭市役所を訪れ、原田裕市長に意気込みを語りました。

年間、青年海外協力隊の一員として、ボリビアに派遣され、幅広い世代への指導に携わりました。任期終了が近づいても指導を求める現地の人々のため、再び単身で現地を訪れ、9カ月活動を継続。帰国後は道内の高校で教員として勤務しながらバスケットボール部の顧問などを務めました。2023年秋に、JICA海外協力隊員として、南米ボリビアに派遣されることになりました。

小林さんは「現地の人たちが、楽しんで力をつけられるような指導を心がけたい。バスケットの発展に少しでも協力できれば」と語り、7月29日に同国へ出発しました。

小林さんは「現地の人たちが、楽しんで力をつけられるような指導を心がけたい。バスケットの発展に少しでも協力できれば」と語り、7月29日に同国へ出発しました。

小林さんは「現地の人たちが、楽しんで力をつけられるような指導を心がけたい。バスケットの発展に少しでも協力できれば」と語り、7月29日に同国へ出発しました。

(編集 大谷)

3年前から毎年行われているこの取り組みは、同園内にある市民農園でブルーベリーとハスカップの栽培管理などを担う恵庭市シルバー人材センターが主催し、子どもたちの食育教育の一環として実施されています。

当日、園児たちは体験に先立ち、栽培管理者の大竹忠雄さんから「ブルーベリーは実の付け根まで青くなっているものが熟しているといいです。実が青くても付け根が青くないものはおいしくないので、よく見て摘んでください」と熟した実の見分け方



「おいしいね」と話していました。

(編集 大谷)

ふれらんどで食育体験 園児が旬の味ににっこり笑顔

を教わりました。その後、園児たちはさっそく摘み取りに挑戦。園児の背丈よりも小さな木にたわわに実ったブルーベリーを摘み取り、「いっぱいある!」「青いの見つけた」と声を上げ、次々に「おいしい!」とにっこり。中には摘んだ実を先生に見せたり、手渡す子どもの姿もありました。

大竹さんは「今年は春先から気温が高く、日照が多かったため、実の出来がとても良く、子どもたちに美味しい実をたくさん味わってもらえました。このような体験を通して、ブルーベリーをもっと身近なものとして興味を持ち、好きになってもらえたらうれしいです」と話していました。

(編集 大谷)



えにわ湖は恵庭市や周辺地域にとつて重要な水源であり、その自然環境を守ることを目的に、2016年から地域貢献事業の一環としてこの清掃活動が続けられています。2020年以降は新型コロナウイルスの影響で規模を縮小しながら継続されてきましたが、今年は活動範囲を拡大。例年は自由広場から約6km先の白扇の滝までを清掃していたところ、今回はさらに約5km先の道道453号との交差点付近まで範囲を広げて実施されました。

(編集 大谷)

当日は、恵庭、北広島、江別、緑のライオンズクラブほか、恵庭河川ズクラブが参加しました。

参加者たちは道路沿いや川辺などを手分けして清掃を実施。ごみばさみを手にも、空き缶やペットボトル、弁当の容器などを丁寧に拾い集めました。中にはスノーダン、パイプ椅子、冷蔵庫など、不法投棄とみられる大型ごみもあり、この日は約180kgのごみが回収されました。

(編集 大谷)

えにわ湖は恵庭市や周辺地域にとつて重要な水源であり、その自然環境を守ることを目的に、2016年から地域貢献事業の一環としてこの清掃活動が続けられています。2020年以降は新型コロナウイルスの影響で規模を縮小しながら継続されてきましたが、今年は活動範囲を拡大。例年は自由広場から約6km先の白扇の滝までを清掃していたところ、今回はさらに約5km先の道道453号との交差点付近まで範囲を広げて実施されました。

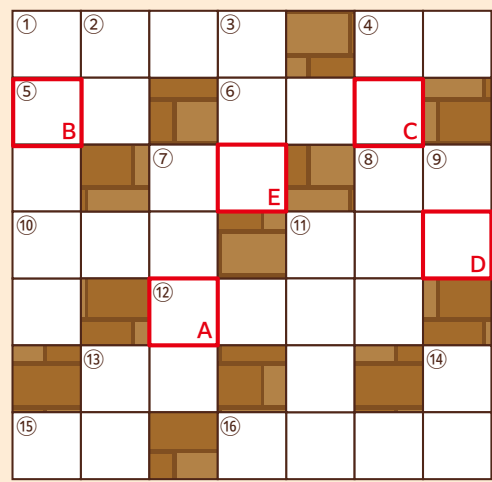
参加者たちは道路沿いや川辺などを手分けして清掃を実施。ごみばさみを手にも、空き缶やペットボトル、弁当の容器などを丁寧に拾い集めました。中にはスノーダン、パイプ椅子、冷蔵庫など、不法投棄とみられる大型ごみもあり、この日は約180kgのごみが回収されました。

(編集 大谷)



(編集 大谷)

クロスワードパズル



タテのカギ

- ロックアイスは冷蔵庫じゃなくこつち
- 奈良公園に何頭も
- ハンバーガーと飲み物をのせて席へ
- シャインは皮ごと召し上がれ
- 軸足の反対
- 年齢を聞かれて、つい読んじゃった!
- 「犬の散歩」というワザも
- 「○○の花」とは食塩のことよ
- チャンスのスペルで最初の文字

ヨコのカギ

- 家計簿つけてるから捨てないわよ
- ブーツがバツなら、ピンポーンは
- ホテルとダイオウじゃ大違い
- すかし模様の生地。カーテンなどに
- 玄関のやバイクのや、ホルダーにジャラジャラ
- バッグの中に「晴雨兼用折りたたみ」
- 底に穴は、ツボじゃなく○○○鉢
- クローバー、三つ葉じゃつまないワ
- アパートマンとも言います
- 返事がないのは「○○のつぶて」
- うるさいっ!からココに栓
- サイフォンで入れたていかが?

怪盗ちゃんとからの

挑戦状

答えは来週号に掲載!
君にこの難問が
解けるかな?



作者: マグナム・ハートさん

作者略歴: パズル作家歴25年、東京在住。パズル誌、携帯アプリ、社内報などに問題を提供。2011年単行本「連番禁止ナンプレ」(パブリック・プレイン)出版。